

アイランドの夕べ🍀朗読とハーブ

ネット配信(視聴無料)アイリッシュハーブの音にのせた英語/アイランド語/日本語訳の朗読と歌

主催 札幌大学 熊谷ユリヤ研究室



Ambasáid na hÉireann | An tSeapáin
Embassy of Ireland | Japan
駐日アイランド大使館

札幌市, (公財)札幌国際交流プラザ, (公財)北海道文学館



アイランドの守護聖人のお祭りにちなんだチャリティーイベント♪3.17「セント・パトリックス・デー朗読とハーブ」が
コロナウィルス拡大防止のため6/17に延期されていましたが、対面での開催は遂に断念しました。
かわりに無観客のホームコンサートを行い、録画を編集してYouTube 限定公開で配信します(スマホでも視聴できます)

配信期間: 6月17日(水) 19:00~7月16日(木)

YouTube 限定公開ビデオ (1:17:16)

お申込み/お問い合わせ poetry.sapporo@gmail.com

*メール件名: 朗読とハーブ メール本文: 氏名(*本名を開示したくない方は整理の都合上,仮名必要), 都道府県

*[みちのく未来基金]へ任意の寄付をお願いするイベントでしたが, コロナ関係も含めた認定NPOリストを同時配信します



🍀プログラム🍀

アイランドの夕べ朗読とハーブ (ホームコンサート風チャリティーイベント)

Irish Poems & Lyrics on Harp (a Home-Concert Style Charity Event)

プログラム/Programme

熊谷ユリヤ Yuriya Kumagai:

🗣️トーク/Talk&通訳/Interpreting, 📖日本語朗読/Reading,

🎹(アイリッシュ/サウルハーブ)弾語り・朗誦/Singing・Reciting & Playing Irish/ Saul Harps,

ブレンダン・アッシュ Brendan Ashe: 🗣️トーク/Talk, 📖英語/アイランド語朗読/Reading in English/Irish, 🎵=歌/Singing

更科理恵 Rie Sarashina:

🎹(アイリッシュハーブ)演奏

[0] オープニング Opening

出演者紹介 Introduction, 🗣️🔄🗣️(セントパトリックスデー, 北海道のアイランド人/St. Patrick's Day, Irish in Hokkaido)

[1] 「春の日の花と輝く」(トーマス・ムーア詩, 堀内敬三歌詞)

“BELIEVE ME IF ALL THOSE ENDEARING YOUNG CHARMS” (Thomas Moore 詩)

[1-1] ⇄ (「天然痘のあばたが残る妻のための愛の詩/Love Song for Moore's wife who had marks from smallpox」)

[1-2] (日本語) [1-3] ⇒ [1-4] (英語)

[2] ロンドンデリーの歌/ダニーボーイ(フレデリック・ウェザリ詩, 近藤玲二訳詞)

LONDONDERRY AIR/DANNY BOY(F. Weatherly)

[2-1] ⇄ (語り手は Danny の父? 恋人? 母?/Who is the narrator, Danny's father, lover or mother?)

[2-2] (日本語) [2-3] ⇒ [2-4] (英語)

[3] 庭の千草/夏の名残りの薔薇 (トーマス・ムーア詩, 里見義歌詞)/THE LAST ROSE OF SUMMER (Thomas Moore)

[3-1] ⇄ (最後の薔薇は何を象徴? 「夏の最後のバラ」が「冬の初めの白菊」に, 翻訳と翻案/ What does the last rose symbolize? “the last rose of summer” translated as “a white chrysanthemum of early winter”, “translation” and “adaptation”)

[3-2] Y サウルハープ/Saul Harp(日本語) = アイリッシュハープ演奏/Irish Harp

[3-3] = ⇒ (英語&アイルランド語朗読) ⇄ (アイルランド語と教育/Irish language and its education)

[4] サリーガーデンズ(ウィリアム・バトラー・イエイツ詩, 熊谷ユリヤ訳)/DOWN BY THE SALLEY GARDENS(W. B. Yeats)

[4-1] ⇄ (salley は柳, Salley Garden はイエイツの故郷近く, メロディーは農婦の鼻歌?! “salley” is “willow” in Irish, Salley Garden is near Yeats' hometown, the melody was an elderly village woman's hum) [4-2] = ⇒

[5] 若き吟遊詩人 (トーマス・ムーア詩, 熊谷ユリヤ訳)/THE MINSTREL BOY(T. Moore 詩)

[5-1] ⇄ (戦い/反抗の歌, ヒロイズム, アイルランド系アメリカ人消防士/警察官の追悼で演奏, 象徴としてのハープ, 翻訳 a song of heroism/resistance, often sung for the mourning of Irish American firefighters/police officers, translation)

[5-2] = ⇒

[6] かつてタラの広間に豎琴が(トーマス・ムーア詩, 熊谷ユリヤ訳)/The Harp That Once through Tara's Halls(T. Moore)

[6-1] ⇄ (古都 Tara, ハープ, 誇り/Tara was the ancient capital, the seat of Hi Kings , harp, pride, defiance)

[6-2] = ⇒ [6-3] B 歌/Singing =



🍀熊谷ユリヤ (朗読, トークと通訳, ハープ弾き語り, 歌詞(詩)翻訳) 🍀 詩人,通訳/翻訳者,札幌大学教授。PEN/現代詩人会/翻訳家協会/世界芸術文化アカデミー各会員。吟遊詩人大賞/Millennium 世界詩人会議優秀賞/北海道詩人協会賞他受賞。14か国の詩祭出演や朗読コンサート開催。『声の記憶を辿りながら』他, 詩集や翻訳詩集 8 冊

🍀ブレンダン・アッシュ (英語・アイルランド語ゲスト朗読, 歌, トーク) 🍀アイルランド生まれ。米国,英国で IT 関連の業務後, JET プログラム ALT として来札。一時帰国し大学院修了後, 札幌永住を決心し再来日、留学希望の学生や社会人に英語を指導

🍀更科理恵 (ハープ演奏) 🍀 札幌大谷短期大学音楽科卒業。ピアノを熊谷玲子氏に, ハープを三上伸子,故堤祥作,村上直子, 故桑島すみれ各氏に師事。熊谷ユリヤと共演で♪「吟遊詩人大賞コンテスト」大賞受賞後「朗読とハープ」共演。オーケストラやブラスバンドとも共演